



本号では、i-Constructionの3本柱のうち「施工時期の平準化」の取り組みについてお知らせします。施工時期の平準化は、人材や機材を効率的に活用するため、工事等の稼働について、年度始めの閑散期、年度末の繁忙期を均すことにより、生産性を向上させようという取り組みです。

国債の設定や翌債等の繰り越し制度を活用し、年間を通して工事等の量が安定することで、働く人たちの環境改善や企業の経営環境改善の効果を期待するものです。

最新ニュース

平成28年度に発注したICT土工の対象工事（公告手続き中含む）は80件でした。そのうち、発注者指定型は2件、手上げ方式の施工者希望Ⅰ型は1件、施工者希望Ⅱ型が77件でその大半を占めています。施工者希望Ⅱ型は、3月20日現在でICT土工の実施を「する」、「しない」を決めた工事は未だ26件ですが、うち21件は実施が決定し、8割超の高い割合となっています。

本号の掲載内容

ICT技術の活用	特に無し
規格の標準化	特に無し
施工時期の平準化	平成28年度と平成29年度の見込み

工事の平準化

平準化は、施工時期が閑散期となる、4～6月の月平均稼働件数／年度の月平均稼働件数を「平準化率」として算出し、平準化率が1.0に近づけば近づくほど、平準化が進んでいるといえます。なお、工事の平準化は件数、金額が多数を占める、「一般土木工事」を対象としています。

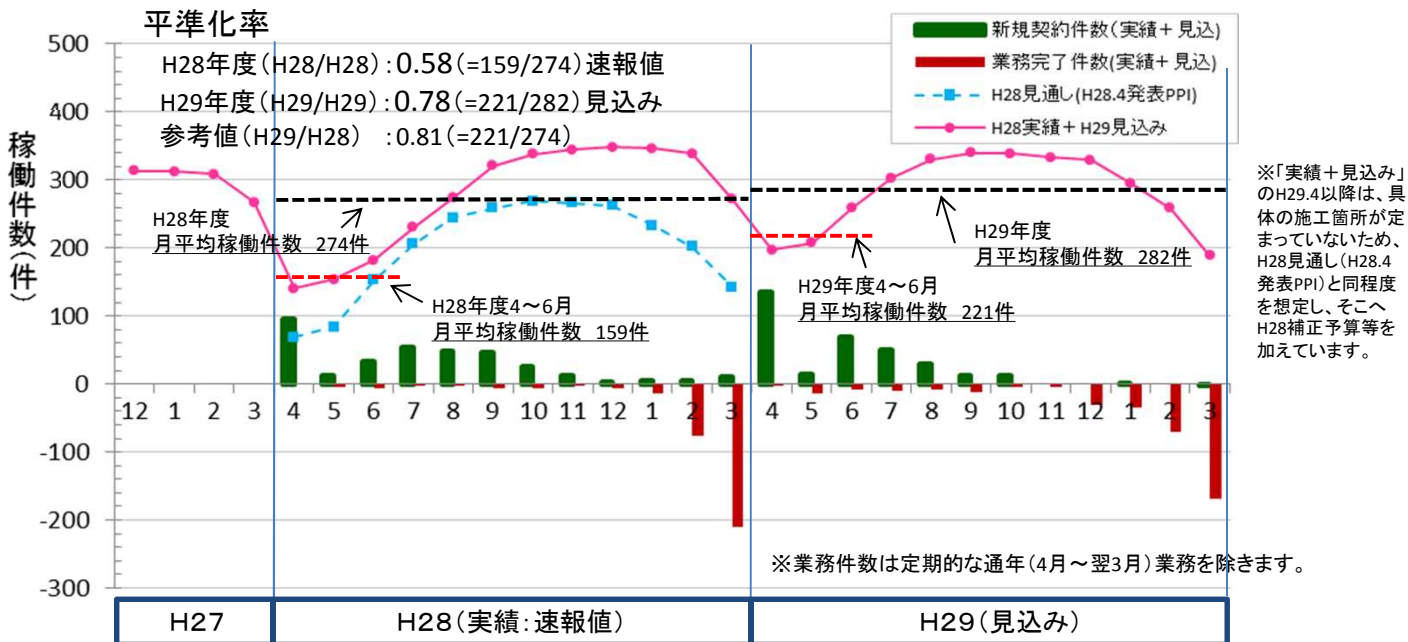
北陸地方整備局管内の平成28年度の月平均稼働件数は約293件で、閑散期となる平成28年4～6月の月平均稼働件数は、約248件でした。（いずれも速報値）

平成29年度は、具体の施工箇所が定まっていないため平成28年度と同程度と仮定して算出すると、月平均稼働件数は約307件が見込まれます。また、平成29年4～6月の月平均稼働件数は平成28年度補正予算等の効果もあって、約329件（H28比+33%）が見込まれ、結果平準化率は1.07とアップします。



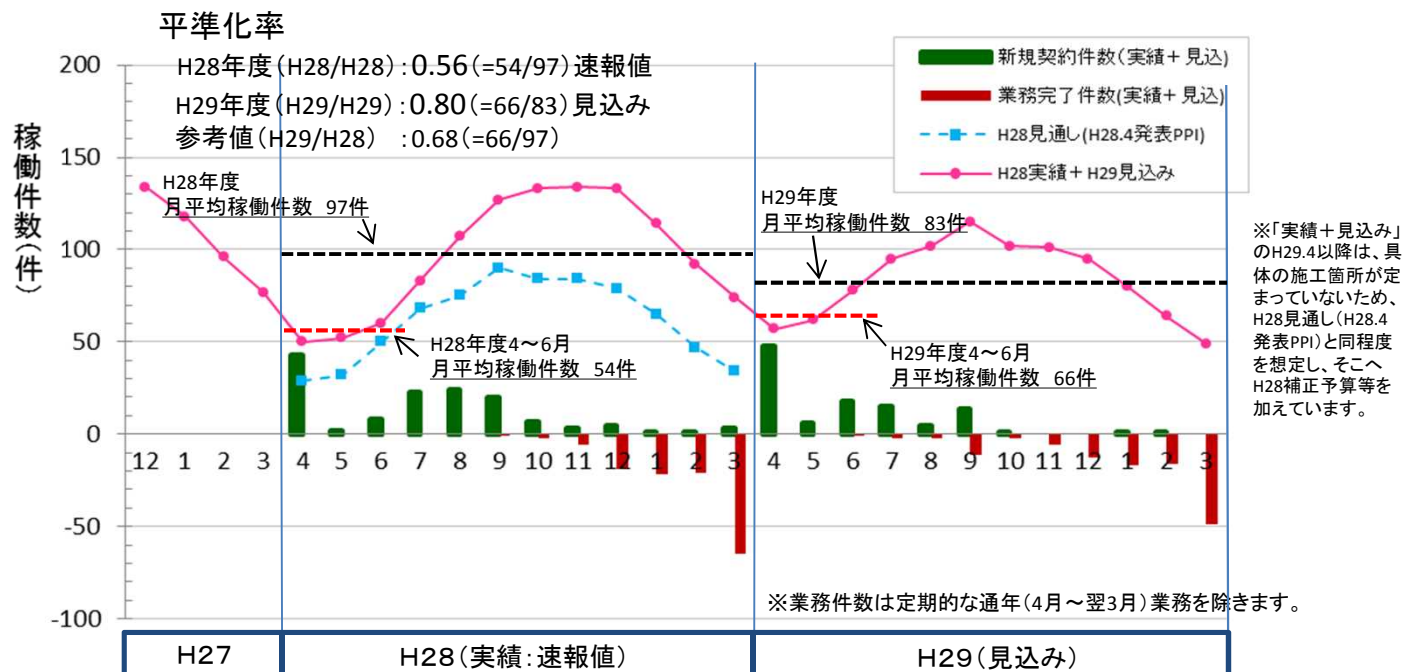
建設コンサルタント業務の平準化

平成28年度の月平均稼働件数は、約274件で、平成28年4～6月の月平均稼働件数は約159件でした(いずれも速報値)。工事と同様に見込み値を算出すると、平成29年度の月平均稼働件数は約282件、4月～6月の月平均稼働件数は約221件(H28比+39%)が見込まれ、平準化率は0.78とアップします。



測量・地質業務の平準化

平成28年度の月平均稼働件数は、約97件で、平成28年4～6月の月平均稼働件数は約54件でした(いずれも速報値)。工事と同様に見込み値を算出すると、平成29年度の月平均稼働件数は約83件、4月～6月の月平均稼働件数は約66件(H28比+22%)が見込まれ、平準化率は0.80とアップします。



平準化の各数値は速報値や見込み値となります。各数値は、定期的に見直しをし、今後も平準化に努めます。

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官(2118)

企画部 技術管理課長(3311)

企画部 技術検査官(3122)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 TEL025-280-8880(代)